



令和7年度 新宿区立淀橋第四小学校 学校経営方針

校長 片山 直子

学校教育目標

○助け合う子ども ◎考える子ども（重点） ○やりぬく子ども ○じょうぶな子ども

基本理念

「わかった!」「できた!」 学ぶ喜び・知る楽しさがあふれる学校

行動のキーワード

連携・試行錯誤

子どものためになっているか

- (1)基礎学力の向上と主体的・対話的で深い学びの実現を支える教材研究の推進
- (2)子どもの居場所となる安全・安心な環境づくり
- (3)一人ひとりのウェルビーイングを高める学校づくり
- (4)笑顔で元気に挨拶を交わす子どもたち
- (5)教職員相互、教職員と保護者・地域との連携 「チーム淀四」

①学力の向上

- 「考える力」を高める問題解決型学習
- めあてと振り返りの連携
- 授業のユニバーサルデザイン化
- ICT機器の活用促進
- 基礎学力の習得、個に応じた指導
- 学校図書館活用・読書活動の充実
- 英語活動の充実
- 日本語指導の充実

②豊かな人間性の育成

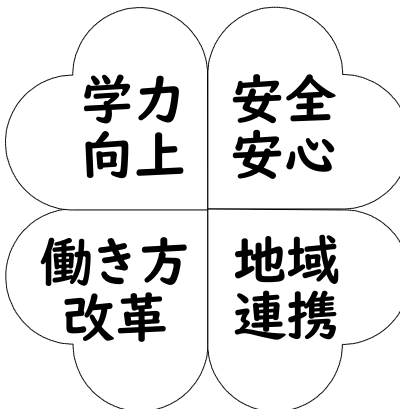
- 日常生活の中での人権意識の醸成
- 「いじめを許さない」指導の徹底
【未然防止・早期発見・対応・丁寧な事後指導】
- あいさつ運動の実施（全学年）
- 縦割り班活動「淀四キッズ」
- 音楽教育の充実（金管バンド・和太鼓等）
- 道徳科を要とした道徳教育の充実
- 国際理解教育の推進
- 新宿区手話言語条例を意識した取組

③体力の向上

- 運動の機会の確保・授業改善
- なわとび、マラソン等による帯学習
- 体育朝会、マラソン・なわとび月間
- 体カテスト・スポーツギネス新宿の実施・活用
- コーディネーショントレーニングの実施
- デフリンピックへの理解促進
- 健康習慣「早寝・早起き・朝ごはん」
- 栄養士による食育指導と学校保健委員会

④安全・安心な教育環境

- 安全・安心に配慮した教育活動
- 安全・防災教育の実施
- 子どもを大切に、気持ちに寄り添う指導
- リスクセンスの向上
- 正しい言語環境の維持（児童と教員）
- 適切な学習環境の維持
- SNSの適切な利用
（情報モラル教室、親子スマホ教室）



⑤地域との協働・体験活動の充実

- OPTA（自転車教室、見守り、イベントサポート等）
- 地域（淀四地区子どもを守る会・安全ボランティア）、関係諸機関との連携
- 地域防災訓練への参加、不審者対応訓練、起震車体験、集団下校、交通安全教室等の実施
- 地域の特色を生かした体験活動
 - 邦楽教室
 - 絵手紙
 - 環境教室（3R、みどりのカーテン、屋上芝生、ビオトープ等）
 - 馬頭琴の実演
 - 茶道学習
 - 昔の道具体験
 - トッパースリットとの交流
 - 和太鼓クラブ・金管バンドの地域行事への参加
 - キャリア教育 等

⑥小中、保幼子小の連携

- 小中連携の活性化
- 効果的な乗り入れ指導の実施検討
- 保幼子小の滑らかな接続の実現
- 併設幼稚園との連携の推進・充実
- 架け橋プログラムの計画・実施

⑦働き方改革

- 資質や指導力の向上を図る研究・研修
- 校内OJTの内容・グループの工夫
- 自己申告書の活用・充実
- 適切なライフワークバランスの実現
- メリハリを意識した勤務の実現
- 年休が取りやすい職場環境
- 働きがいの維持・向上のための対話促進
- 学習支援員・時間講師・外部人材の活用